

地域説明会 平成28年11月22日開催 <みずほ台コミュニティセンター>

①

Q みずほ台駅西口のエレベータは、年度内には出来るとのことだったが、設置をする形跡がなく心配である。

みずほ台駅西口の交番はコミセンのすぐ隣にあるが、ロータリーに面しているのが一番抑止力になる。交番は県の管轄で、市ではどうしようも出来ないとのことだが見解を伺いたい。

A 市長

エレベータは年度内に完成する予定である。

交番については難しい状況である。一方で、警察官の数の問題があり、警察官1人当たりの県民数は埼玉県が一番多い。私が県議会議員の時に警察官の数を増やして欲しいという要望を知事に出しているが、知事は総務省へお願いをし、総務省が警察庁とのやりとりの中で埼玉県に何人増やすかという仕組みになっている。今後もしっかりと要望したい。

A 建設部長

エレベータについては、東武鉄道から今年度のスケジュールが示されている。市でも東武鉄道に皆様の思いを伝え、今年度内に完成するよう申し入れをする。

② エレベータの件は、業者から計画や図面をいただいて説明を受けている。騒音の関係だと思うが、駅ビルマンションの掲示板に掲示してある。

③

Q 子どもの虐待について、どの程度の問題を把握されているのか。

A 健康福祉部長

通報などがある虐待の数は把握している。今のところ事件性はない。市では、小さいころから虐待の目をつむため、例えば、乳幼児健診などの折に家庭も含めた環境を見させてもらい、必要な家庭には支援の手を差し伸べている。また、来年度からは、母子健康手帳の受付を健康増進センターに一本化し、妊娠の時から保健師が話を聞く体制を考えている。

④

Q キラリふじみが出来て15年ぐらいになる。改修も考えてもらっているが、問題は事業だと思う。残念ながら市の予算が事業費に全くかかっていない。各中学校に能だとか芸術監督が教えに行くと、子どもたちは生きいきとしており、いい事業で

ある。それをキラリの貸館料金で細々やっている。

市の予算を計上して、キラリを中心として小・中学校のアウトリーチ活動を充実してもらい、それから内容も充実してもらいたい。

A 市長

市として、キラリを持っていることに誇りをもっている。平田オリザ先生とお会いした際に、キラリやキラリで活動する皆さんの素晴らしさのことを言われ、意欲を強くした。キラリは、指定管理ということで、キラリ財団が運営をしている。市として自主興行などの支援をすとか方法はあろうかと思う。意見をしっかりと前を向く材料とさせていただく。

⑤

Q 道路交通環境の整備で、東上線の西側は公共交通から置き去りにされている。市内循環バスに乗るにも、線路を越えないと乗れないので不便である。西口まで路線を延長する計画はあるのか。

A 建設部長

西側については、過去に走っていた経緯があるが、様々な事情のなかで廃止した。今の予定では市内全域をデマンド交通で対応して、実証検証を行いたい。検証の結果、西側の方が多く乗られるということであれば、そういう選択肢もあるが、まずは、どの地域で、どのような方が乗るのかを検証する予定である。

⑥ 市役所やキラリに行ったりする際、東上線で鶴瀬へ行って、鶴瀬から「ららぼーと」行きのバスに乗っている。市内循環バスを西口にも延ばしてほしい。市役所のほうに行く足を確保していないので、なんとか検討してほしい。

⑦

Q 昨年、町会で市主催の避難訓練に参加した。関沢小学校が避難所になっているが、設備や備品の管理がずさんで災害用品が使えるのか心配である。定期的に管理したほうがいいのではないか。町会は、市で準備している防災用品の一覧表があれば、重複して準備しなくても済む。

また、避難所を開設する場合、町会でどう支援をしていけばいいのか。今後の計画が市としてどんなものがあるのか。具体的な進め方を聞きたい。

A 自治振興部長

各避難所の防災倉庫は整理をしている。現実には災害が起きた時に避難所の備品を使っただけなのは、避難所を運営する町会と地域対策本部の職員になる。勝瀬小学校で11月に実施した防災訓練の際、各備品を全部出したので、一度そういう機

会を持っていただければ、一緒にやらせていただきたい。避難所については、地域防災計画を見直す中で、個別の避難所のマニュアルを作っていきたい。

災害が起きた時には、地域にも手伝いをしていただきたい。食糧も各避難所分では400名程度しかいないため、自助で用意していただくなど、町会でも日頃から周知等のご協力をお願いしたい。

⑧

Q 選挙の投票権が世帯主宛で各自に来ないので、自覚が出にくい。個人宛にいただけるとよい。

A 総務部長

選挙の関係は選挙管理委員会が担当となる。富士見市の場合、経費削減という意味で世帯主宛に通知を出している。いただいたご意見は所管に伝える。

⑨

Q 通常、我々が期待したい市の姿があり、それに適合する計画がある。大きな数値を使い少しでも見えるようにすれば理解しやすい。

4年後の人口と65歳以上がどれくらいで、どういう考えを持っているのか聞きたい。

A 総合政策部長

本日は、4年間のポイント事業について話をさせていただいた。基本構想では、目指していく将来都市像を掲げている。様々な施策を推進し、いい街を目指していく。

人口について、65歳以上の人口は平成28年4月で23.7%、4人に1人に近づいている。将来推計に基づくと、高齢者人口は増えるので、介護や健康をしっかりと見ていく。全体の人口は当然減っていくが、この4年間は今の状況が続いていくと想定している。総合戦略の中で人口減のくい止めの計画をしており、それも含めて後期基本計画で取り組んでいく。

⑩

Q 学力調査で全国平均を下回っている要因をどう捉えているのか。

A 教育部長（学校）

学力テストの結果分析は、様々な角度から見なければならぬので、一概に決めつけるのは難しいが、富士見市は、学力の上位者が若干少ないので、平均を引き上げるといった傾向が弱い。国語についてはあまり好きではない子が多い傾向にある。学校としては、学ぶことが好きだと思える子どもを育てなくてはならない。

もう一つは家庭学習で、家庭での学習時間が全国に比べて富士見市は短いという結果も見られる。量や質、家庭学習時間の確保など、家庭での協力を得ながら総合的に学力を上げていきたい。

- ⑪ 陳情として、ジュニアオーケストラを立ち上げてほしい。